

## 9 参 考 资 料

## 水質基準に関する省令

平成15年厚生労働省令第101号 平成16年4月1日施行

(最終改正：令和2年4月1日 厚生労働省令第38号)

### 水道水質基準項目及び基準値

番号	項目名	基準値	備考
1	一般細菌	1 mℓの検水で形成される集落数が100以下であること	病原生物の代替指標
2	大腸菌	検出されないこと	
3	カドミウム及びその化合物	カドミウムの量に関して 0.003mg/ℓ以下であること	金属類
4	水銀及びその化合物	水銀の量に関して 0.0005mg/ℓ以下であること	
5	セレン及びその化合物	セレンの量に関して 0.01mg/ℓ以下であること	
6	鉛及びその化合物	鉛の量に関して 0.01mg/ℓ以下であること	
7	ヒ素及びその化合物	ヒ素の量に関して 0.01mg/ℓ以下であること	
8	六価クロム化合物	六価クロムの量に関して 0.02mg/ℓ以下であること	
9	亜硝酸態窒素	0.04mg/ℓ以下であること	無機物
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	シアンの量に関して 0.01mg/ℓ以下であること	
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/ℓ以下であること	
12	フッ素及びその化合物	フッ素の量に関して 0.8mg/ℓ以下であること	
13	ホウ素及びその化合物	ホウ素の量に関して 1.0mg/ℓ以下であること	
14	四塩化炭素	0.002mg/ℓ以下であること	有機物
15	1, 4-ジオキサン	0.05mg/ℓ以下であること	
16	シス-1, 2-ジクロロエチレン及び トランス-1, 2-ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ以下であること	
17	ジクロロメタン	0.02mg/ℓ以下であること	
18	テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下であること	
19	トリクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下であること	
20	ベンゼン	0.01mg/ℓ以下であること	
21	塩素酸	0.6mg/ℓ以下であること	消毒副生成物
22	クロロ酢酸	0.02mg/ℓ以下であること	
23	クロロホルム	0.06mg/ℓ以下であること	
24	ジクロロ酢酸	0.03mg/ℓ以下であること	
25	ジブロモクロロメタン	0.1mg/ℓ以下であること	
26	臭素酸	0.01mg/ℓ以下であること	
27	総トリハロメタン	0.1mg/ℓ以下であること	

番号	項目名	基準値	備考
28	トリクロロ酢酸	0.03mg/ℓ以下であること	消毒副生成物
29	ブロモジクロロメタン	0.03mg/ℓ以下であること	
30	ブロモホルム	0.09mg/ℓ以下であること	
31	ホルムアルデヒド	0.08mg/ℓ以下であること	
32	亜鉛及び化合物	亜鉛の量に関して 1.0mg/ℓ以下であること	金属
33	アルミニウム及びその化合物	アルミニウムの量に関して 0.2mg/ℓ以下であること	
34	鉄及びその化合物	鉄の量に関して 0.3mg/ℓ以下であること	
35	銅及びその化合物	銅の量に関して 1.0mg/ℓ以下であること	
36	ナトリウム及びその化合物	ナトリウムの量に関して 200mg/ℓ以下であること	
37	マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して 0.05mg/ℓ以下であること	
38	塩化物イオン	200mg/ℓ以下であること	無機物
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300mg/ℓ以下であること	
40	蒸発残留物	500mg/ℓ以下であること	一般性状
41	陰イオン界面活性剤	0.2mg/ℓ以下であること	有機物
42	ジェオスミン	0.00001mg/ℓ以下であること	
43	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/ℓ以下であること	
44	非イオン界面活性剤	0.02mg/ℓ以下であること	
45	フェノール類	フェノールの量に換算して 0.005mg/ℓ以下であること	
46	有機物等（全有機炭素（TOC）の量）	3mg/ℓ以下であること	味
47	pH値	5.8以上8.6以下であること	一般性状
48	味	異常でないこと	
49	臭気	異常でないこと	
50	色度	5度以下であること	
51	濁度	2度以下であること	

番号	項目	目標値	検査方法
1	アンチモン及びその化合物	アンチモンの量に関して、0.02mg/ℓ以下	水素化物発生-原子吸光光度法 水素化物発生-ICP法 ICP-MS法
2	ウラン及びその化合物	ウランの量に関して、0.002mg/ℓ以下(暫定)	ICP-MS法 固相抽出-ICP法
3	ニッケル及びその化合物	ニッケルの量に関して、0.02mg/ℓ	フレイムレス-原子吸光光度法 ICP法 ICP-MS法
4	削除	削除	削除
5	1,-2-ジクロロエタン	0.004mg/ℓ以下	PT-GC-MS法 HS-GC-MS法
6	削除	削除	削除
7	削除	削除	削除
8	トルエン	0.4mg/ℓ以下	PT-GC-MS法 HS-GC-MS法
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08mg/ℓ以下	溶媒抽出-GC-MS法
10	亜塩素酸	0.6mg/ℓ以下	イオンクロマトグラフ法 イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光光度法 液体クロマトグラフ-質量分析法
11	削除	削除	削除
12	二酸化塩素	0.6mg/ℓ以下	イオンクロマトグラフ法 イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光光度法
13	ジクロロアセトニトリル	0.01mg/ℓ以下(暫定)	溶媒抽出-GC-MS法
14	抱水クロラール	0.02mg/ℓ以下(暫定)	溶媒抽出-GC-MS法
15	農薬類	検出値と目標値の比の和として、1以下	農薬ごとに定められた方法による
16	残留塩素	1mg/ℓ以下	ジエチル-P-フェニレンジアミン法 電流法 吸光光度法 連続自動測定機器による吸光光度法 ポーラログラフ法 携帯型残留塩素計測定法
17	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10mg/ℓ以上 100mg/ℓ以下	フレイム-原子吸光光度法 ICP法 イオンクロマトグラフ法 滴定法

番号	項目	目標値	検査方法
18	マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して、 0.01mg/ℓ 以下	フレイムレス-原子吸光光度法 ICP法 ICP-MS法
19	遊離炭酸	20mg/ℓ 以下	滴定法
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/ℓ 以下	PT-GC-MS法 HS-GC-MS法
21	メチル-t-ブチルエーテル	0.02mg/ℓ 以下	PT-GC-MS法 HS-GC-MS法
22	有機物等 (過マンガン酸 カリウム消費量)	3mg/ℓ 以下	滴定法
23	臭気強度 (TON)	3以下	官能法
24	蒸発残留物	30mg/ℓ 以上 200mg/ℓ 以下	重量法
25	濁度	1度以下	比濁法 透過光測定法 連続自動測定機器による透過光測定法 積分球式光電光度法 連続自動測定機器による積分球式光電光度法 散乱光測定法 透過散乱法
26	pH値	7.5程度	ガラス電極法 連続自動測定機器によるガラス電極法
27	腐食性 (ランゲリア指数)	-1程度以上とし、 極力0に近づける	計算法
28	従属栄養細菌	1mlの検水で形成される集 落数が2000以下 (暫定)	R 2 A 寒天培地法
29	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/ℓ 以下	PT-GC-MS法 HS-GC-MS法
30	アルミニウム及びその化合物	アルミニウムの量に関し て、0.1mg/ℓ 以下	フレイムレス-原子吸光光度法 ICP法 ICP-MS法
31	ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOA) の量の和として、0.00005 mg/L 以下 (暫定)	ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOA) の量の和として、0.00005 mg/L 以下 (暫定)	固相抽出-LC-MS法

農薬名	用途	目標値 (mg/l)	検査方法
1, 3-ジクロロプロベン (D-D) 注1)	殺虫剤	0.05	P T-G C-M S法 H S-G C-M S法
2, 2-D P A (ダラボン)	除草剤	0.08	L C-M S法
2, 4-D (2, 4-P A)	除草剤	0.02	固相抽出-誘導体化-G C-M S法 固相抽出-L C-M S法 L C-M S法
E P N 注2)	殺虫剤	0.004	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
M C P A	除草剤	0.005	L C-M S法
アシュラム	除草剤	0.9	固相抽出-H P L C法、 固相抽出-L C-M S法 L C-M S法
アセフェート	殺菌剤	0.006	L C-M S法
アトラジン	除草剤	0.01	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
アニロホス	除草剤	0.003	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
アミトラズ	殺虫剤	0.006	L C-M S法
アラクロール	除草剤	0.03	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
イソキサチオン 注2)	殺虫剤	0.005	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
イソフェンホス 注2)	殺菌剤	0.001	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
イソプロカルブ (M I P C)	殺虫剤	0.01	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
イソプロチオラン (I P T)	殺菌剤 植物成長調整剤	0.3	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
イブフェンカルバゾン	除草剤	0.002	L C-M S法
イプロベンホス (I B P)	殺菌剤	0.09	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
イミノクタジン	殺菌剤	0.006	固相抽出-H P L C-ポストカラム法 溶媒抽出-H P L C-ポストカラム法 固相抽出-L C-M S法
インダノファン	除草剤	0.009	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
エスプロカルブ	除草剤	0.03	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
エトフェンブロックス	殺菌剤	0.08	固相抽出-G C-M S法 L C-M S法
エンドスルファン (ベンゾエピン) 注3)	殺虫剤	0.01	固相抽出-G C-M S法

農 薬 名	用 途	目 標 値 (mg/ℓ)	検 査 方 法
オキサジクロメホン	除 草 剤	0.02	LC-MS法
オキシ銅 (有機銅)	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.03	固相抽出-LC-MS法 LC-MS法
オリサストロピン 注4)	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.1	固相抽出-GC-MS法 LC-MS法
カズサホス	殺 虫 剤	0.0006	固相抽出-GC-MS法 LC-MS法
カフェンストール	殺 虫 剤 除 草 剤	0.008	固相抽出-GC-MS法 LC-MS法
カルタップ 注5)	殺 虫 剤 殺 菌 剤 除 草 剤	0.08	LC-MS法
カルバリル (NAC)	殺 虫 剤	0.02	固相抽出-HPLC法 HPLC-ポストカラム法 固相抽出-LC-MS法 LC-MS法
カルボフラン	代 謝 物	0.0003	固相抽出-LC-MS法 LC-MS法
キノクラミン (ACN)	除 草 剤	0.005	固相抽出-GC-MS法 LC-MS法
キャプタン	殺 菌 剤	0.3	固相抽出-GC-MS法
クミルロン	除 草 剤	0.03	固相抽出-GC-MS法 LC-MS法
グリホサート 注6)	除 草 剤	2	誘導体化-HPLC法 HPLC-ポストカラム法 誘導体化-固相抽出-LC-MS法
グルホシネート	除 草 剤 植 物 成 長 調 整 剤	0.02	誘導体化-溶媒抽出-LC-MS法
クロメプロップ	除 草 剤	0.02	LC-MS法
クロルニトロフェン (CNP) 注7)	除 草 剤	0.0001	固相抽出-GC-MS法
クロルピリホス 注2)	殺 虫 剤	0.003	固相抽出-GC-MS法 LC-MS法
クロロタロニル (TPN)	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.05	固相抽出-GC-MS法 LC-MS法
シアナジン	除 草 剤	0.001	固相抽出-GC-MS法 LC-MS法
シアノホス (CYAP)	殺 虫 剤	0.003	固相抽出-GC-MS法 LC-MS法
ジウロン (DCMU)	除 草 剤	0.02	固相抽出-LC-MS法 LC-MS法
ジクロベニル (DBN)	除 草 剤	0.03	固相抽出-GC-MS法
ジクロルボス (DDVP)	殺 虫 剤	0.008	固相抽出-GC-MS法 LC-MS法
ジクワット	除 草 剤	0.01	固相抽出-HPLC法 固相抽出-LC-MS法

農 薬 名	用 途	目標値 (mg/ℓ)	検 査 方 法
ジスルホトン (エチルチオメトン)	殺 虫 剤	0.004	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
ジチオカルバメート系農薬 注8)	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.005 (二酸化炭素として)	HS—GC—MS法
ジチオピル	除 草 剤	0.009	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
シハロホップチル	除 草 剤	0.006	固相抽出—GC—MS法
シマジン (CAT)	除 草 剤	0.003	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
ジメタメトリン	除 草 剤	0.02	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
ジメトエート	殺 虫 剤	0.05	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
シメトリン	除 草 剤	0.03	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
ダイアジノン 注2)	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.003	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
ダイムロン	殺 虫 剤 殺 菌 剤 除 草 剤	0.8	固相抽出—LC—MS法 LC—MS法
ダゾメット、メタム (カーバム) 及び メチルイソチオシアネート 注9)	殺 菌 剤	0.01 (メチルイソチオシ アネートとして)	PT—GC—MS法
チアジニル	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.1	LC—MS法
チウラム	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.02	固相抽出—LC—MS法
チオジカルブ	殺 虫 剤	0.08	固相抽出—LC—MS法 LC—MS法
チオファネートメチル	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.3	固相抽出—HPLC法 固相抽出—LC—MS法 LC—MS法
チオベンカルブ	除 草 剤	0.02	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
テフリルトリオン	除 草 剤	0.002	LC—MS法
テルブカルブ (MBPMC)	除 草 剤	0.02	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
トリクロピル	除 草 剤	0.006	固相抽出—誘導体化—GC—MS法 固相抽出—LC—MS法 LC—MS法
トリクロルホン (DEP)	殺 虫 剤	0.005	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
トリシクラゾール	殺 虫 剤 殺 菌 剤 植 物 成 長 調 整 剤	0.1	固相抽出—LC—MS法 LC—MS法
トリフルラリン	除 草 剤	0.06	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法



農 薬 名	用 途	目標値 (mg/ℓ)	検 査 方 法
ナプロバミド	除 草 剤	0.03	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
バラコート	除 草 剤	0.005	固相抽出—LC—MS法
ビペロホス	除 草 剤	0.0009	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
ビラクロニル	除 草 剤	0.01	LC—MS法
ピラゾキシフェン	除 草 剤	0.004	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
ピラゾリネート (ピラゾレート)	除 草 剤	0.02	LC—MS法
ピリダフェンチオン	殺 虫 剤	0.002	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
ピリプチカルブ	除 草 剤	0.02	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
ピロキロン	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.05	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
フィプロニル	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.0005	固相抽出—LC—MS法 LC—MS法
フェニトロチオン (MEP) 注2)	殺 虫 剤 殺 菌 剤 植 物 成 長	0.01	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
フェノブカルブ (BPMC)	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.03	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
フェリムゾン	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.05	LC—MS法
フェンチオン (MPP) 注10)	殺 虫 剤	0.006	固相抽出—GC—MS法 固相抽出—LC—MS法 LC—MS法
フェントエート (PAP)	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.007	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
フェントラザミド	除 草 剤	0.01	LC—MS法
フサライド	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.1	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
ブタクロール	除 草 剤	0.03	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
ブタミホス 注2)	除 草 剤	0.02	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
ブプロフェジン	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.02	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
フルアジナム	殺 菌 剤	0.03	LC—MS法
ブレチラクロール	除 草 剤	0.05	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
プロシミドン	殺 菌 剤	0.09	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
プロチオホス 注2)	殺 虫 剤	0.007	固相抽出—GC—MS法

農 薬 名	用 途	目 標 値 (mg/ℓ)	検 査 方 法
プロピコナゾール	殺 菌 剤	0.05	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
プロピザミド	除 草 剤	0.05	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
プロベナゾール	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.03	固相抽出—LC—MS法
プロモブチド	殺 虫 剤 除 草 剤	0.1	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
ベノミル 注1)	殺 菌 剤	0.02	固相抽出—LC—MS法 LC—MS法
ペンシクロン	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.1	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
ベンゾピシクロン	除 草 剤	0.09	LC—MS法
ベンゾフェナップ	除 草 剤	0.005	LC—MS法
ベントゾン	除 草 剤	0.2	固相抽出—誘導体化—GC—MS法 固相抽出—LC—MS法 LC—MS法
ペンディメタリン	除 草 剤 植 物 成 長 剤 調 整 剤	0.3	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
ベンフラカルブ	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.02	固相抽出—LC—MS法 LC—MS法
ベンフルラリン (ベスロジン)	除 草 剤	0.01	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
ベンフレセート	除 草 剤	0.07	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
ホスチアゼート	殺 虫 剤	0.005	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
マラチオン (マラソン) 注2)	殺 虫 剤	0.7	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
メコプロップ (MCP P)	除 草 剤	0.05	固相抽出—誘導体化—GC—MS法 固相抽出—LC—MS法 LC—MS法
メソミル	殺 虫 剤	0.03	HPLC—ポストカラム法 固相抽出—LC—MS法 LC—MS法
メタラキシル	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.2	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
メチダチオン (DMTP) 注2)	殺 虫 剤	0.004	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
メトミノストロピン	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.04	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
メトリブジン	除 草 剤	0.03	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
メフェナセツト	除 草 剤	0.02	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法

農 薬 名	用 途	目標値 (mg/ℓ)	検 査 方 法
メプロニル	殺 虫 剤 殺 菌 剤	0.1	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法
モリネート	除 草 剤	0.005	固相抽出—GC—MS法 LC—MS法

注1) 1, 3-ジクロロプロペン(D-D)の濃度は、異性体であるシス-1, 3-ジクロロプロペン及びトランス-1, 3-ジクロロプロペンの濃度を合計して算出すること。

注2) 有機リン系農薬のうち、EPN、イソキサチオン、イソフェンホス、クロルピリホス、ダイアジノン、フェニトロチオン(MEP)、ブタミホス、プロチオホス、マラチオン(馬拉ソ)及びメチダチオン(DMPD)の濃度については、それぞれのオキソン体の濃度も測定し、それぞれの原体の濃度と、そのオキソン体それぞれの濃度を原体に換算した濃度を合計して算出すること。

注3) エンドスルファン(ベンゾエピン)の濃度は、異性体である $\alpha$ -エンドスルファン及び $\beta$ -エンドスルファンに加えて、代謝物であるエンドスルフェート(ベンゾエピンスルフェート)も測定し、 $\alpha$ -エンドスルファン及び $\beta$ -エンドスルファンの濃度とエンドスルフェート(ベンゾエスピンスルフェート)の濃度を原体に換算した濃度を合計して算出すること。

注4) オリサストロピンの濃度は、代謝物である(5Z)-オリサストロピンの濃度を測定し、原体の濃度とその代謝物の濃度を原体に換算した濃度を合計して算出すること。

注5) カルタップの濃度は、ネライストキシンとして測定し、カルタップに換算して算出すること。

注6) グリサホートの濃度は、代謝物であるアミノメチルリン酸(AMPA)も測定し、原体の濃度とアミノメチルリン酸(AMPA)の濃度を原体に換算した濃度を合計して算出すること。

注7) クロニトロフェン(CNP)の濃度は、アミノ体の濃度も測定し、原体の濃度とアミノ体の濃度を原体に換算した濃度を合計して算出すること。





注8) ジチオカルバメート系農薬の濃度は、ジネブ、ジラム、チウラム、プロピネブ、ポリカーバメート、マンゼブ(マンコゼブ)及びマンネブの濃度を二硫化炭素に換算して合計して算出すること。



注9) ダゾメット、メタム(カーバム)及びメチルイソチオシアネートの濃度は、メチルイソチオシアネートとして測定すること。

注10) フェンチオン(MPP)の濃度は、酸化物であるMPPスルホキシド、MPPスルホン、MPPオキソン、MPPオキシンスルホキシド及びMPPオキシンスルホンの濃度も測定し、フェンチオン(MPP)の原体の濃度と、その酸化物それぞれの濃度を原体に換算した濃度を合計して算出すること。

注11) ベノミルの濃度は、メチル-2-ベンツイミダゾールカルバメート(MBC)として測定し、ベノミルに換算して算出すること。

# 給水普及図

- 上水道地域 
- 簡易水道地域 
- 用水供給地域 
- 用水供給及び自己水源地域 

- 導水管 
- 送水管 
- 水路トンネル 